

小規模多機能ハウスあい戸倉

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

1. 初期支援（はじめのかかわり）

メンバー 松代、大宮、田中、二本柳、佐藤（な）、佐藤（か）
平野、三好、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組めましたか？	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか？	2	7	1	1	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか？	0	9	2	0	11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか？	4	6	1	0	11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか？	3	5	3	0	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報、アセスメント、ケアプランにより状況把握、情報共有が出来ている。 利用者様との会話や家族からの情報収集を行い、申し送り等で情報を共有に努めている。 家族の生活状況、経済状況を把握しサービスの柔軟な対応に努めている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の目線に立った支援への配慮に欠けていることがある。 新規の利用者の情報、状況の把握に職員間で差がある場合がある。 カンファレンスや申し送りの受け止め方に個人差がある。 業務に追われ、利用者への気遣いや状況に添った支援ができていないことがある。 職員の思い込みや、職員の感覚で支援を行っている。 サービスに本人が納得されていない（認知症等により）支援が出来ない場合がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 施設内のアセスメントシートを活用できていない。新規利用開始後は担当職員を決めて全体像を把握できるアセスメントシート（「～したい」シート：仮名）を新たに作成し実施行う。 カンファレンスで評価を行っていく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日 (18 : 30～ 19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 松代、大宮、田中、二本柳、佐藤 (な)、佐藤 (か)
平野、三好、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	5	4	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	1	1	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	6	4	1	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	4	4	1	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・個別カンファレンスやご本人、家族の要望を伺い、支援に繋げている。
- ・日々の「～したい」は汲み取って支援出来ている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ご本人の思いを汲み取れない、ゴールを見つけられないケースがある。
- ・「～したい」を先延ばしにしてしまうことがある。又、実現不可能な内容への対応に苦慮する。
- ・ゴールがわからない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・本人の思いや、ゴールを全て実現させることが重要なのではなく、「思い」を傾聴し寄り添うこと。受容する事の支援を行っていく。
- ・本人の「～したい」シートを活用し、各々 3 個以上の思いを引き出していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日 (18 : 30～ 19 : 30)

3. 日常生活の支援

メンバー 松代、大宮、田中、二本柳、佐藤 (な)、佐藤 (か)、平野、三好、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	3	5	3	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	2	8	0	1	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	0	6	4	1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	3	8	0	0	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	7	1	1	11

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> 基本情報の把握、本人や家族からの聞き取り等に努めて支援している。 本人の状況に合わせた対応、受診が図れており、情報共有を行っている。 本人の出来ることを重視し尊重した支援を行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> すべての利用者の個人情報を把握できていない。 本人からの情報が困難（認知症）なケース、家族も遠方で生活歴等の情報がないケースがある。 本人の「～したい」と介護者がして頂きたい事に相違がある場合がある。 以前の暮らし方10個の把握は出来ていない。 <p>(理由) 個々の職員は会話の中で多くの情報を持っているが、情報共有できていない為、人物の全体像が把握できていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> 日々のケアでの生活歴や感情情報が共有できていない。「～したい」シート、暮らしの情報シートを活用し「思い」「生活の様子」の把握を行っていく。 以前の暮らし方10個を把握するよう「～したい」シート、暮らしの情報シートの改善を行う。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 16 日 (18 : 30～ 19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 松代、大宮、田中、二本柳、佐藤 (な)、佐藤 (か)、平野、三好、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	6	2	2	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	1	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	4	5	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	4	6	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ 本人の家族関係と情報共有し連携できる様に支援している。
- ・ 本人の余暇時間の過ごし方や自宅での生活状況を家族と共有している。
- ・

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ 地域の資源の把握が出来ていない。資源の種類を理解できていない。

(理由) 日々の会話の中で聞き得た情報がたくさんあるが、資源との認識をしていなかった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・ 地域の資源とは個人によって資源が異なることを理解し、生活の中での社会との関わりとしてアセスメントを行っていく。(新聞・ヤクルト配達、町内会班長、馴染みの美容室等、)
- ・ 地域資源 (日常生活の地域の関わり) 項目を「～したい」シート、暮らしの情報シートに追加する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 21 日 (18 : 30～ 19 : 30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 松代、大宮、二本柳、佐藤 (な)、佐藤 (か)
五十嵐、白鳥、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	5	2	2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	7	0	0	11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	4	5	2	0	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	2	7	2	0	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・町内会活動に参加したり地域の保育園や小学校との交流を持っている。
- ・ご家族の状況や本人の体調に合わせ柔軟な組み合わせでのサービス提供が出来ている。
- ・本人の行動や表情から声掛け等の支援を行えている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人の目線や立場に立った視点での支援が行われていないことがある。
- ・職員の連携が悪く、統一した支援が行われていない。また、本人の状態やニーズに対応しきれないことがある。

(理由) 職員の経験や状況把握の能力に個人差があり個人プレーになっている。職員個々で得ている情報を職員間で共有できていない。また、個人情報保護を行いながら、支援協力を得ることに困難がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・個々の生活歴、地域での関わりの情報共有を行うため、暮らしの情報シートを活用していく。
- ・「～したい」シート、暮らしの情報シート、日々の介護記録から本人のニーズを共有し支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 21 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 松代、大宮、二本柳、佐藤 (な)、佐藤 (か)
五十嵐、白鳥、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	1	2	7	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	2	0	9	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	4	1	4	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	3	2	2	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">往診、受診ごとに相談等行っている。入院や利用開始時はサービス担当者会議・ムンテラ等に参加し情報共有を行っている。町内会の行事、地域の保育園や教育機関の行事交流を行っている。地域の方のボランティア参加がある。地域の学校の案内等で学生が訪れることがある。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">近隣に住宅が少なく、事業所にふらりと立ち寄るとい環境にない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">包括支援センターの地域会議に出席し、今後地域の中での交流関係作りを広げる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 21 日 (18 : 30～ 19 : 30)

7. 運営

メンバー 松代、大宮、二本柳、佐藤 (な)、佐藤 (か)
五十嵐、白鳥、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	4	1	4	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	4	0	4	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	5	1	3	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	3	1	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・苦情に対して都度、話し合い改善策を検討・実施している。 ・施設内の改善点等は随時報告できる環境にある。 ・町内会と協働し避難訓練、町内会クリーン作戦 (ゴミ拾い) 等、行っている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の定着せず、地域の拠点としての取組まで至らない。 ・地域内でどのようなニーズがあるか把握出来ていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議のなかで、町内会や包括支援センターとの関わりを通じ、求められていることを把握していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 21 日 (18 : 30～ 19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 松代、大宮、二本柳、佐藤 (な)、佐藤 (か)
五十嵐、白鳥、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	2	0	4	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	1	0	6	11
③	地域連絡会に参加していますか	1	2	0	8	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	1	2	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・施設内研修・法人研修・外部研修に参加している。 ・地域ケア会議に参加している。 ・事故再発防止委員会を月 1 回開催しリスクマネジメントに努めている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・町内会総会等には出席させて頂いているが、地域連絡会は現在実施されていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加した後、施設内で活かせる体制を作る。(ユニット会議、施設内研修) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 21 日 (18 : 30 ~ 19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 松代、大宮、二本柳、佐藤 (な)、佐藤 (か)
五十嵐、白鳥、

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	1	0	0	11
②	虐待は行われていない	9	2	0	0	11
③	プライバシーが守られている	9	2	0	0	11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	0	2	8	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	4	0	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束廃止・虐待に関するチェックリストを活用し毎月職員の意識付けを行っている。・必要がある家族には法テラスや専門家 (行政書士等) に相談するよう窓口案内を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度を活用している方は現在いない。職員の知識が不足している。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度の研修を実施し、理解を深める。	

平成 27 年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人心侑会	代表者	理事長 大倉 健治	法人・事業所の特徴	「笑顔あふれる自分らしい生活を地域と共に支えます。～共有・実践～」を理念とし個々の生活者としての暮らしを支援しております。法人は特別養護老人ホーム、グループホーム、シニアハウス、デイサービス等々多岐にわたり施設運営を行っており、状態や状況に応じた必要な支援の提供を提案いたしております。
事業所名	小規模多機能ハウス あい戸倉	管理者	松代 由里		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	1人	2人	0人	人	2人	0人	3人	0人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			・初めての取組にて職員の理解にばらつきが見られた。 (各職員の自己評価を回覧し確認して頂く。)	・「かかわりシート」の実施。介護職員の気づきの為に1年間取り組んでみたうえで、来年度再検討をする。
B. 事業所のしつらえ・環境			特になし	・気温、湿度、音、光等に配慮しながら居心地が良い環境作りを継続していく。
C. 事業所と地域のかかわり			・町内会や地域の保育園等と関わりを持っている。 ・包括支援センターからも地域の困難事例の相談等がある。	・運営推進会議を通じ町内会や包括との情報共有を継続していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			・地域住民や包括支援センター、病院の退院後の生活相談等をうけて対応している。	・地域住民から相談を受けるケースも見られるようになり、今後も地域での受け皿になれるよう関わりを継続していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			2・運営推進会議で事例検討を行う場面はなかったが、包括から直接相談を受けたケースはいくつかある。	・運営推進会議で情報交換を行い地域での取組に協働していく。
F. 事業所の防災・災害対策			・津波警報(防災アナウンス)もよく聞こえました。 ・きちんと行っているので安心していきます。	・防災・災害計画に添った訓練の継続を行っていく。 ・施設だけではなく近隣の協力を得られるよう働きかけを行っていく。